

2023年9月12日
(一社)日本旅行業協会中部支部
事務局長 中津 功

**JATA 中部支部・中部国際空港(株)合同
シンガポール航空セールスマッション レポート**

セントレア発の国際線路線拡大のためシンガポール航空本社へ、現状の週3便からデイリー化を1日も早く実現するために中部国際空港(株)とJATA中部支部との合同セールスを実施しましたので報告いたします。

◆渡航期間 :2023年8月30日(水)～9月3日(日) 3泊5日

◆参加者 【中部国際空港株式会社】

・常務執行役員 営業推進本部長	永江 秀久
・航空営業部 東南アジアグループ長	山田 卓司
・航空営業部 東南アジアグループマネージャー	今枝 良人

【一般社団法人 日本旅行業協会 中部支部】

・(支部長) 東武トップツアーズ(株) 中部統括部長	所 真司
・(副支部長) 名鉄観光サービス(株)取締役中部営業本部長	浅田 淳
・(空港委員長) (株)JTB 中部航空仕入課長	竹田 隆一
・ (株)エイチ・アイ・エス 中部事業部長	吉野 真司
・ 中部事務局長	中津 功

◆利用航空会社 シンガポール航空

8/30(水) 中部 10:30/ シンガポール 16:05 SQ671
9/03(日) シンガポール 01:20/ 中部 09:05 SQ672

◆宿泊ホテル ザ・アウトポストホテル セントーサバイファーイーストホスピタリティ (2泊)
グッドウッドパークホテル (1泊)

【シンガポール航空本社訪問】

日時:2023年8月31日(木) 16:00～17:30

場所:シンガポール航空トレーニングセンター

(SIA Training Center,720 Upper Changi Road East, Singapore486852)

SINGAPORE AIRLINES 出席者

- SHELDON HEE (MR) Vice Presidents Partnerships & International Relations
- PEICHONG WANG(MR) Manager Partnerships & Prorates

ミーティングアジェンダ

(司会進行) 中部国際空港 山田東南アジアグループ長 (英語)

16:00～16:05 名刺交換

16:05～16:15 代表者挨拶① 中部国際空港 永江常務執行役員 (英語)
プレゼン 中部国際空港 今枝マネージャー (英語版資料配布)

(主な発言内容)

- ・今回のミーティング実施および運航継続の御礼
- ・地域一丸となった協力体制の紹介
JATA 中部支部との連携・フライ・セントレア・パートナーズなど
- ・主に業務渡航視点においてのインドを始めとした地域特性を踏まえた
需要の見込みと早期増便の必要性
※自動車業界から毎日飛ばばインド方面への出張には中部発着便を出来るだけ利用したいという期待のお声もいただいています。
- ・グラントハンドリングなどのオペレーション面の課題解決に向けた状況報告・協力体制
- ・SQ 日本支社との連携施策状況及び今後の協力意向など

16:15～16:30 代表者挨拶② JATA 中部支部 所支部長 (通訳有)
プレゼン JATA 中部支部 事務局長 中津 (通訳有・資料なし)
「中部の旅行会社および市場の近況について」

(主な発言内容)

- ・今回のミーティング開催および運航継続の御礼
- ・日本からのアウトバインド回復状況
- ・名古屋マーケットにおけるシンガポール航空の評価の高さ
1989年名古屋空港時代から34年の運航実績、ワールドベスト
エアライン授賞・充実の路線網・安全性・定時運航率・平均機体年齢の若さ
乗り継ぎの利便性(バリ・モルディブ・プーケット・オーストラリアなど)
- ・現状便数における課題(レジャー視点から)
シンガポール旅行日数は5日間が最も多いが、現状の水・金・日だと水発・
日着の1パターンのみになる。曜日を選べないことで他空港や他社に流れる。
毎日飛んでいることが最も重要。曜日を気にせずツアーが組めることが必要。

- 増便に対する期待(デイリー化)

ツアー設定の選択肢が増え、中部国際空港発のディスティネーションとしてシンガポールが伸びる。シンガポールは世代を超えて人気がある。シニア・ファミリー・女性・教育旅行などターゲットは広い。またシンガポール以遠のツアーを格段に増やせる。SQ 自体のシェアも伸びる。

- 増便後の各社の取組み

シンガポールおよび SQ 利用の以遠商品の拡充をはかり各社でキャンペーンを張りたい

- JATA は観光庁と一体となりパスポート取得キャンペーンはじめ海外旅行機運醸成に努め SQ 様のお役に立てる基盤づくりに最大限努力する。

16:30～17:10 意見交換

(SHELDON HEE (MR) Vice Presidents Partnerships & International Relations)

- 本日は中部国際空港様と JATA 中部支部様、ようこそシンガポール航空へお越しいただきました。心より歓迎いたします。今回の合同訪問の主旨は理解しております。
- 2015 年から 3 年間福岡支店で勤務していた。現在東京で勤務する法人営業部長の安武は、福岡時代の同僚。名古屋にも 7 回訪問している。
- SQ としての課題はコロナ禍の 3 年間で CA が足りなくなっている事。2022 年春で 40%、2023 年夏で 80%、2024 年 3 月にはコロナ前 100%に戻す予定。2024 年夏にはフルサービスに戻したい。採用してから、研修で 4 ヶ月、機内研修で 2 ヶ月など最低でも半年間はデビューまでかかる。
- 中部便においては 2023 年冬ダイヤで週 5 便、2024 年夏ダイヤでデイリー化を現在予定しているが、皆さんの意見も検討したい。
- スケジュール変更については、できるだけ早い告知が必要であることを共有させて頂いた。その点について留意したい。

17:10～17:20 記念品交換・記念撮影

17:30 SIA トレーニングセンター出発



(左から5番目から右に セントレア永江常務・SQ HELDON HEE (MR) Vice Presidents
Partnerships & International Relations・JATA 中部支部 所支部長)





JATA 中部支部は今後も中部国際空港(株)と連携しながら復便の拡充のための基盤づくりに積極的に協力いたします。

以上